



笠縫学区ホームページ

<http://www.machikyou.jp/kasanui/>

発行：笠縫学区まちづくり協議会

連絡先：笠縫まちづくりセンター
TEL・FAX562-0071

Eメール：kasanui@machikyou.jp

笠縫学区（9月30日現在）

男性 5414人 女性 5684人

世帯数 4705世帯



笠縫小学校運動会を開催

十月三日（土）晴天の下、令和二年度運動会を開催しました。本年度はコロナウィルス感染症対策として、児童1名につき保護者2名までの限定参観の上、各学年の実施となりました。

まずは4年生。80m走と全員リレーを行いました。それぞれが自分の思いを持ちながら、全力で駆け抜けました。続いて3年生は、80m走と色別綱引きを行いました。小学校で初めて行う綱引き、楽しんで取り組みました。

2年生は60m走と、折り返しリレーを行いました。そして1年生。子どもたちにとっては、小学校で初めての運動会。50m走は緊張しながらも一生懸命走りきりました。「チエッチエッチ玉入れ」では、BGMに合わせてかわいいダンスを見せてくれました。5年生は100m走と色別リレーで、高学年ら

しい見事な走りやバトンパスを見せてくれました。

そして最高学年の6年生。応援合戦はどの色も一生懸命考え、取り組んだ様子が伝わる素晴らしいパフォーマンスでした。色別全員リレーは力強い走り、スピードを落とさないバトンパスを見せてくれました。

最後のソーラン節では大きなかけ声と重心を落とした力強い演技、ラストの各クラスからの感謝のパフォーマンスでは、保護者の方が目頭を押さえる場面が見られました。子どもたちの大きな成長を感じることができた最高の運動会となりました。

最後に、スムーズな運営に協力していただいた皆様に感謝申し上げます。



たくさんとれたよ! さつまいも収穫体験

10月14日(水) まちづくり協議会 子ども育成部会の主催で、笠縫小学校の子どもたちが、下笠町の農業体験農園《笠っ子アドベンチャーパーク(KAP)》でさつまいもの収穫体験をしました。

手のひらサイズのものから大きなもの、おもしろい形のものなど、さわやかな秋晴れの下、子どもたちはいろいろな大きさのいもの収穫を楽しみました。



今回の収穫体験は、まちづくり協議会子ども育成部会の地域協働合校「さつまいも事業」として企画しました。

継続的に学校と地域を結ぶ事業を目指して、本来であれば、5月の苗植え付けから今回の収穫まで、KAPで子どもたちと一緒に活動していく予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症のためかなわず、少数の大人のみで、秋には元気な子どもたちと一緒に収穫できることを願ってさつまいもを育ててきました。



メンバー全員がさつまいも作りは初めてで、植え方から移植作業までわからないことだらけで「ちゃんとできているだろうか」と不安でした。

しかし、収穫前の試し掘りで、予想に反し大きなさつまいもができているのを目にした時は、真夏の炎天下での草刈りや水やりの苦労が一気に報われた思いで、皆で喜びあいました。

収穫体験当日は、コロナ防止対策をし、2年生と3年生の子どもたちが小学校を代表して収穫してくれました。

子どもたちは、大きさや形が様々ないものを熱心に掘り起こし、連なって採れた時には最高の笑顔が見られました。

2、3年生が頑張って掘ったさつまいもは、約2,500個あり、お便りとともに、少しずつですが他の学年の全員にお届けしました。



今回の事業では、地域の方々をはじめ、関係者の皆様から多くのアドバイスやお手伝い、ご協力をいただきました。

心よりお礼申し上げます。

まちづくり協議会では、今後もコロナ防止対策をしながら、みんながわくわく楽しめる事業をしていきますので、楽しみにしててください。

令和2年度 笠縫まちづくりセンター講座

参加者募集!

その時、あなたを守れる、あなたになろう。

考える防災教室

大災害でライフライン(ガス・水道・電気)が
使えなくなっても、乗り切る知恵や知識を
クイズやグループワークでやさしく学べる講座です!

日時 令和3年1月16日(土) 10:00~11:30

場所 笠縫まちづくりセンター

【講師】大阪ガス株式会社 地域共創グループ

**主な講座内容(予定)**

- 災害後の暮らしの変化
- クイズ「自宅で避難生活」
- 新型コロナ時代の避難と備え 他

■参加対象：学区内にお住まいの方(参加費無料)

■参加定員：30名

(申込多数の場合は抽選とし、抽選結果は通知します)

■持ち物：マスク

【申込期限】12月18日(金)

【申込方法】笠縫まちづくりセンターへ
電話または窓口まで。

☎ 077-562-0071

●新型コロナウイルス感染防止対策を実施して開催します●

おでかけ「ふれ愛」模擬体験を開催

地域医療と福祉を考える会議

笠縫学区の高齢化率は約30%と、市内でも上位の3学区に入ります。また、2025年には5人にひとりの人が認知症になると言われています。

このため、昨年度に引き続き今年度も、認知症で道に迷われている方を発見し本人宅へお送りするまでの模擬体験、《笠縫学区おでかけ「ふれ愛」模擬体験》を10月17日(土)に41名の参加者で実施しました。

今回はコロナ禍により参加者を限定のうえで、会場となる野村地域の丸ノ内町内会の会館周辺を歩いて行う予定でしたが、当日の天候不良により、急遽、模擬体験を会館内で行いました。

前段は「認知症サポーター養成講座」で、認知症は早期発見・早期治療が必要なことや、認知症の人と接するときの心構え等を勉強しました。

後段は、実際に高齢者役・家族役・声かけ役に分かれての「模擬体験」を行いました。

模擬体験では、認知症で帰路に迷っている高齢者役の人に、声かけ役の人が交代しながら、①相手に寄り添いつつ ②余裕をもって ③目線を合わせ優しい口調で、講座で習ったように対応するのですが、

高齢者役の真に迫った演技に会話がうまくかみ合わず、なかなか家族の元にたどり着けないという場面もありました。

相手の行動も観察しつつ、声かけもいろいろな角度から工夫して行う必要があると感じました。

**まち協 第2四半期 会計監査を実施**

10月23日(金) 令和2年度まちづくり協議会第2四半期の会計監査が実施されました。

中村会計・事務局会計担当者出席のもと、監事2名による監査の結果、適正に処理されていることが確認されました。

**自動検温器を設置しました**

非接触型自動検温器(手指消毒液ディスペンサー付)を、まちづくりセンター入口に設置しました。

入館時、検温と手指消毒にご協力ください。(検温時、めがねを取って、ひたいをセンサーに5cmまで近づけてください)

**今後の予定(11月15日~12月14日)**

※記事作成時点での予定です。新型コロナウイルスの感染状況により、変更になる可能性があります。

11/19(木) 市長とまちづくりトーク

11/26(木) センター人権講座

11/27(金) まちづくり協議会 運営委員会

12/ 5(土) まちづくりセンター 冬の大掃除

12/12(土) センター講座(簡単ストレッチ)
笠縫学区自治連合会 定例会

12/14(月) 第3回 笠縫学区防災対策委員会

認定こども園みのり

『3・4・5歳児運動会
参観』

予定していた十月十日は台風接近に伴いあいにくの雨天となり、十二日に運動会を行いました。

今年は学年ごとに参観形式で、競技数を減らしたり親子競技を取り止めるなど保護者の方にご理解を頂きながらコロナウイルス感染予防にも努め行うことが出来ました。保護者が見ている中でも泣かずに参加できた3歳



児、マラソン・ダンス等自分の力を出して楽しんだ4歳児、リレー・組体操など友達と協力し合ったり意見を合せて作り上げた5歳児がまた一つ成長する姿が見られました。



くるみ保育園

『ウィズコロナの秋まつり』

運動会もコロナ禍の中で、三密を避ける例年とは違った形での会を無事に終えました。

そこで子ども達だけの秋まつりごっこを開くことになり、みんなでやってみたいことや遊びたいことを話し合い「輪投げ」や「ペットボトルボーリング」「ロケット釣り」「玉入れゲーム」と決めりました。

子ども達と看板や用具作りを進めて、十月二十二日(木)それぞれのコーナーを年長児さんがお店屋さんになつて進行しました。

小さい子ども達は大喜びで、お屋さんさんコーナーにスタンプカードを持って回り、ねじり鉢巻きの年長児さん達は、上手にできたら拍手喝采したり、またやり方を教えてあげたり、和気あいあいとした秋祭りごっこを

楽しみました。

乳児クラスの子ども達もガラガラポンゲームをして大当たりになるとカランカランの音にお祭りの雰囲気を楽しみました。

最後には保護者の会が用意していたいたお土産を頂いて秋のひと時を楽しみました。

